

授業科目名	レクリエーション概論	単位数	2単位
担当教員名	西垣 景太	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) レジャー・レクリエーションに関する基本的内容について理解する。 (2) 様々なレジャーやレクリエーションの活動について理解を深める。 (3) 実際にレクリエーションを体感し、その実施方法を習得することができる。			
授業の概要			
レクリエーションは、カタカナ英語として広く浸透しているが、多様な広がりを持ち、単に遊びや気晴らしを指す言葉ではない。原義としては「壊れたものを創り直す」ことであり、一時的に疲労から回復することを意味するようになった。そして、回復のための遊びや活動自体をレクリエーションと呼ぶようになった。 今日の日本では、毎年約2万人もの自殺者を出すストレスフルな社会であり、我々の心身の発達にはレクリエーションは非常に重要で、欠かすことができない活動の一つといえよう。そこで本授業では、レクリエーションの基本的な内容や種類、方法を学び、自らが活用できるように講義を展開していく。			
授業計画			
第1回: 古代から現代までのレジャー時間の捉え方 第2回: レジャー活動とその広がり、レジャー経験の心理的効果とは 第3回: レクリエーションの発展の歴史 第4回: 休日・休暇の活かし方、労働時間と余暇時間 第5回: 健康社会へ向けての取り組み 第6回: ホイジंगाやカイヨワによる遊びの定義、趣味のよろこび 第7回: レジャー・レクリエーション活動(1) 旅行・登山・キャンプ 第8回: レジャー・レクリエーション活動(2) ギャンブル・ボランティア活動 第9回: レジャー施設の現状と役割(1) テーマパーク・野外教育 第10回: レジャー施設の現状と役割(2) 自然保護への取り組み・国立公園 第11回: 福祉レクリエーション(1) 高齢者のレクリエーション 第12回: 福祉レクリエーション(2) 障害者のレクリエーション 第13回: 教育現場におけるレクリエーション 第14回: レクリエーションの展開: コミュニケーション・ワーク 第15回: 目的・対象に合わせたレクリエーション・ワーク 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
オンデマンドスクーリングを受講し、指示に従って課題をまとめる。			
テキスト			
澤村 博・近藤 克之『これからのレジャー・レクリエーション—余暇社会に向けて—改訂3版』ポラーノ出版 2016年 9784908765032			
参考書・参考資料等			
必要に応じて紹介する。			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			